

認定看護師とは？

～スペシャリストの紹介～

認定看護師とは？



認定看護師は、高度化し専門分野が進む医療の現場において、高い水準で看護を実践できると認められた看護師です。認定看護師を社会に送り出すことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的として、日本では1995年より認定看護師制度が始まりました。

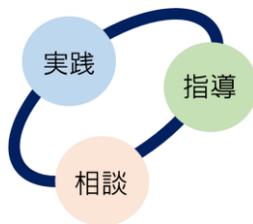
様々な認定看護分野

認定看護師には、現在21の認定看護分野がありますが2020年度教育から19の認定看護分野へと変更されました。全国には約2万人の認定看護師がおりそれぞれの分野で活躍しています。

21の認定看護分野（2019）

皮膚・排泄ケア	緩和ケア	がん化学療法看護
集中ケア	救急看護	がん性疼痛看護
認知症看護	摂食・嚥下障害看護	脳卒中リハビリテーション看護
訪問看護	手術看護	新生児集中ケア
小児救急看護	慢性心不全看護	慢性呼吸器疾患看護
透析看護	がん放射線療法看護	不妊症看護
感染管理	糖尿病看護	乳がん看護

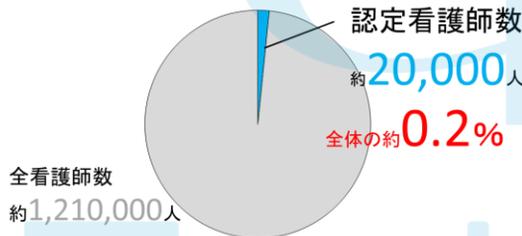
認定看護師の3つの役割



認定看護師には主に3つの大きな役割があります。

- ① 熟練した看護技術及び知識を用いた水準の高い看護の実践。
 - ② 看護実践を通して、看護職に対する指導。
 - ③ 看護職等に対する相談。
- これらの役割を果たし活躍しています

認定看護師は何人いるの？



認定看護師には、様々な認定看護分野があり、全国には約2万人の認定看護師がいます。認定看護師は年々増えてきていますが、全看護師数に対する割合は約0.2%と非常に少なく、貴重な存在と言えます。

～弊社で活躍中の集中ケア・救急看護認定看護師の紹介～

集中ケア認定看護師とは？



集中ケア認定看護師は集中治療室などに勤務し、生命の危機状態にある患者さんのさらなる重症化を予防し、1日でも早く、日常生活を取り戻すための回復へのケアなどを行う認定看護師です。日本には約1200人しかおらず全看護師数の0.001%となります。

救急看護認定看護師とは？



救急看護認定看護師は救急外来などに勤務し、病態に応じた迅速な救命技術、トリアージ（重症度に応じた治療優先順位の判断）の実施、災害時における急性期の医療ニーズに対するケアなどを行う認定看護師です。日本には約1300人の救急看護認定看護師が活躍しています。